

MISSION

自分の視点で、アイデアで、郊外を面白くする
企画づくりワークショップ、参加者募集!

SUMMARY

東京の郊外・国立市の富士見台地域が舞台。仕事終わりの社会人や学校帰りの学生、小さな子どもを育てる人々が自分たちのまちを「自分たちの手で」面白くするアイデアを考えて、そのアイデアのはじめの一歩にチャレンジします。

PROGRAM

DAY 1. TEAM BUILDING

「仲間をつくる / アイデアを出す」
自分自身を振り返り、
企画を考える仲間をつくる。

DAY 2. PLANNING

「企画を練る」
アイデアを整理し、
まちを楽しむ企画づくりをする。

DAY 3. OUTPUT

「カタチにする」
考えた企画のはじめの一歩を
「ヤマイチ」として、カタチ(出店など)にする。

まちのはじまりをカタチにする

クラブサバーブ

CLUB
SUBURB

まちのはじまりをカタチにする

MENTER



加藤健介氏
(国立本店・国立人)



坂根千里氏
(スナック水中)



能作淳平氏
(富士見台トンネル)



土屋一登氏
(リカバリーの学校@くにたち)

SCHEDULE

DAY 1 : 9/30 (sat) 14:00-20:00
DAY 2 : 10/14 (sat) 14:00-20:00
DAY 3 : 11/18 (sat) 13:00-18:00 (「ヤマイチ」開店予定)

富士見台

参加はコチラから→



クラブサバーブって？

これからの郊外(suburb/サバーブ)の暮らしを楽しみたい人が集まって、アイデアを出す・企画を作る・一緒に実現するための場であり、活動です。

※国立市が策定した「国立市重点まちづくり構想」に基づき展開している「市民まちづくりプロジェクト100」のリーディング企画として開催します。

なぜ、ヤミイチ？

今回のクラブサバーブのテーマは「まちのはじまりをカタチにする」です。まちのはじまりという少し抽象的ですが、戦後の日本にもたくさんのまちのはじまりがありました。その象徴でもある、戦後の闇市をモチーフとして現代版の「ヤミイチ」という活動をとおして、まちのはじまりを考えたいと思います。独自の経済原理において取引が行われた場としての戦後の闇市、そして、いろんなモノに溢れた現代社会で、自分たちからはじめる場としての「ヤミイチ」。クラブサバーブが考える「ヤミイチ」とは、どんなもので何がおこるのでしょうか。ぜひご参加ください。※戦争や闇市について言及するイベントではありません。

郊外

ヤミイチ

メンター(相談役)紹介



加藤健介氏
(国立本店・国立人)



坂根千里氏
(スナック水中)



能作淳平氏
(富士見台トンネル)



土屋一登氏
(リカバリーの学校@くにたち)

メンターは、国立市内で活動する実践者。チームづくりや企画づくりをサポートしていきます。

場所

くにたち未来共創拠点 矢川プラス
国立市 富士見台 4-17-65 (JR南武線矢川駅より徒歩4分)



富士見台

募集要項

- ①募集期間
8月28日(月)～9月15日(金) 17時
- ②募集人数
20名(応募多数時は選考)
- ③募集対象
国立市のまちづくりに興味のある人
全日程参加できる人
- ④参加費
無料
- ⑤申込方法
住所、氏名、年齢、連絡先(メール、電話番号等)、
その他希望等を問い合わせ先まで応募フォーム、
電話、ファクス、メール、郵送、または窓口にて申し込み

お問い合わせ

国立市都市整備部 富士見台まちづくり担当
住所：186-8501 国立市富士見台 2-47-1
国立市役所3階(54番窓口)
電話：042-576-2111(内線：383)
メール：sec_fuji@city.kunitachi.lg.jp
ファクス：042-576-0264

公式SNS

- Instagram @clubsuburb
- X @clubsuburb
- Facebook 「クラブサバーブ」のFacebookページはコチラ

応募フォーム

Googleフォームに必要事項をご記入の上、
ご応募ください。

